

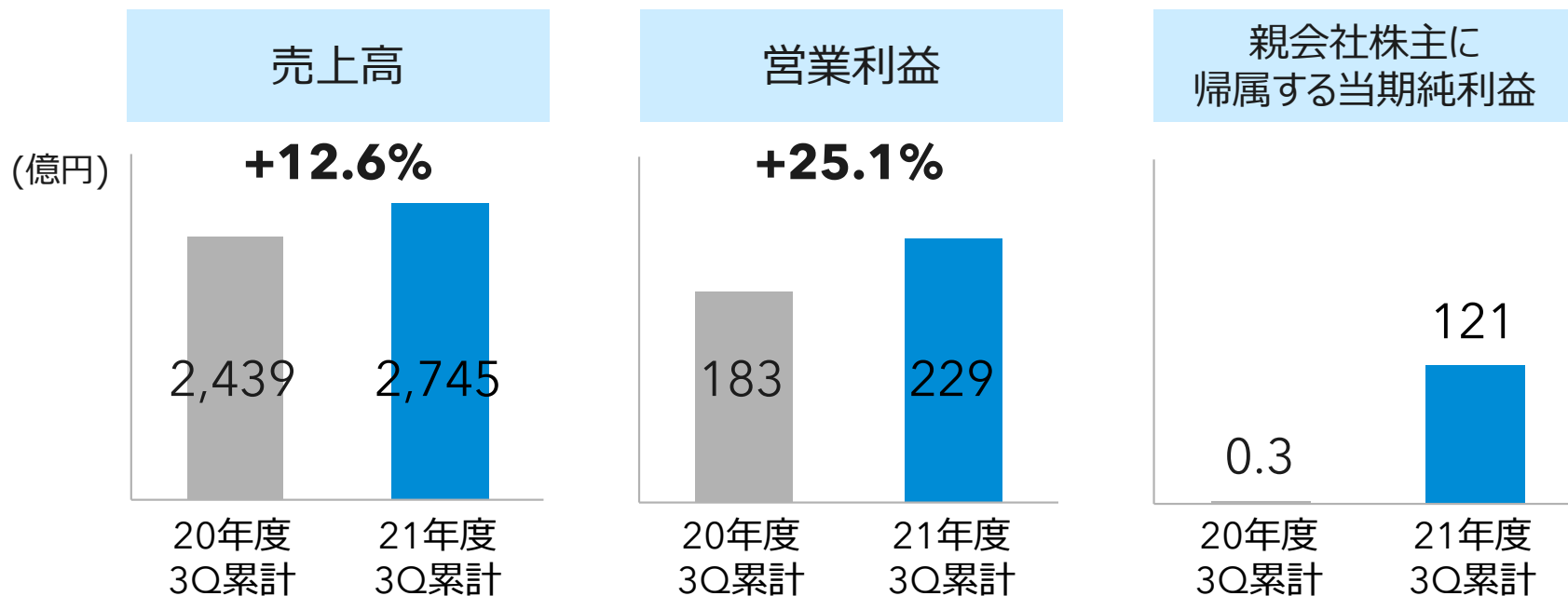
2021年度 第3四半期決算説明

東洋紡株式会社

決算のポイント

第3四半期実績

原燃料価格高騰の影響あるも、工業用フィルム、PCR検査試薬が堅調に推移し、増収増益。 営業利益 229 億円（1.3倍）、当期純利益 121 億円



2022年3月期通期予想

販売価格の改定の遅れ、新型コロナウイルス変異株の感染拡大の影響が懸念されるも、工業用フィルム、PCR検査試薬などが堅調に推移し、営業利益 290 億円、当期利益 130 億円の予想を据え置く

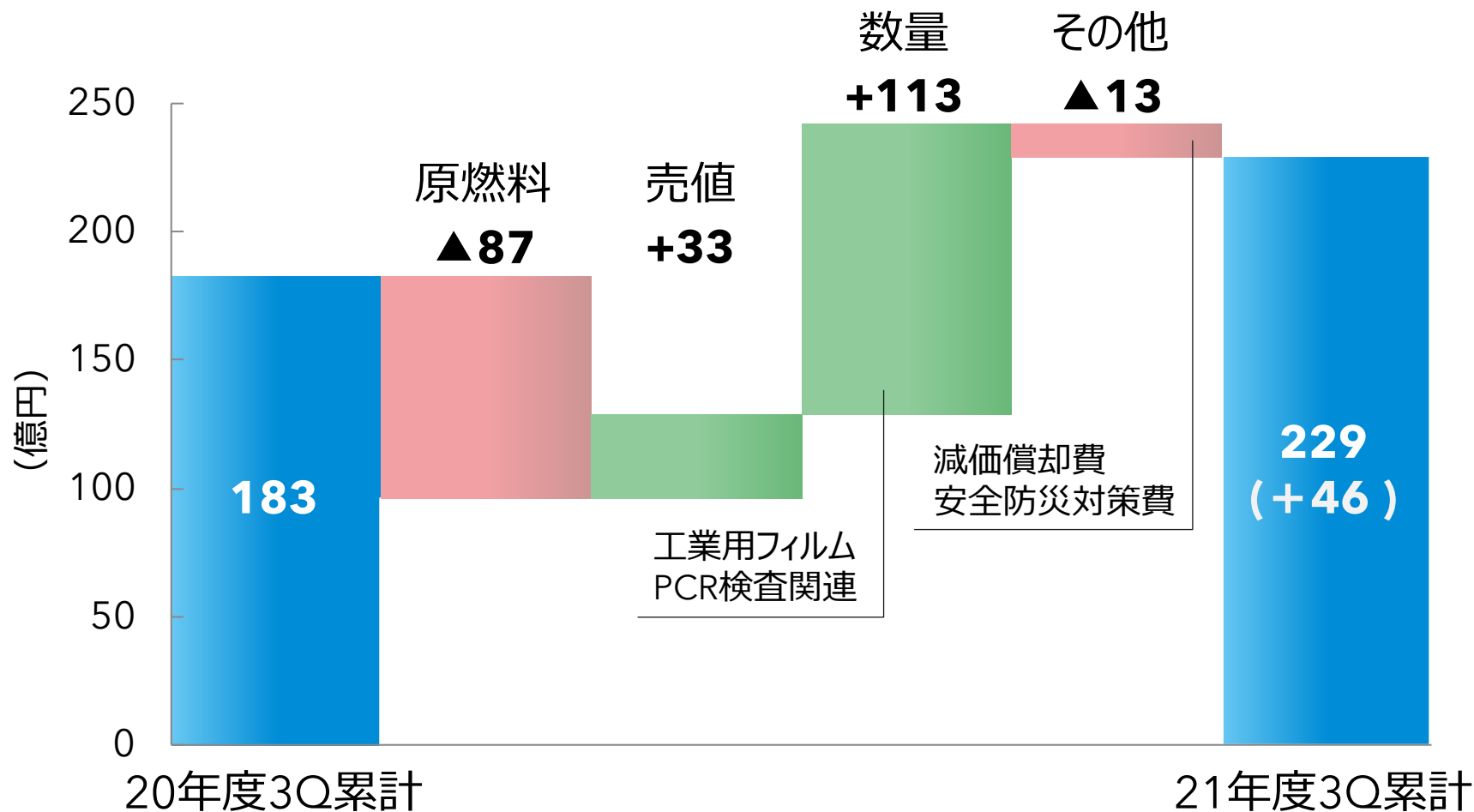
決算サマリー | PL



(億円)

	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	増減	
			金額	率
売上高	2,439	2,745	+307	+12.6%
営業利益	183	229	+46	+25.1%
(率)	7.5%	8.3%	-	-
経常利益	125	182	+57	+46.0%
特別損益	▲ 127	▲ 32	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	0	121	+121	-
<hr/>				
EBITDA* <small>* 営業利益 + 減価償却費 (のれんを含む)</small>	325	380	+55	+17.0%
EPS (円)	0.3	136.4	-	-
ROE* <small>* 年換算ベース。 (当期純利益×4/3)÷期首・期末平均自己資本</small>	0.0%	8.4%	-	-
<hr/>				
減価償却費	142	151	+9	+6.6%
設備投資	168	227	+60	+35.7%

営業利益の増減要因



	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計
為替レート (円/US\$)	106	111
国産ナフサ (千円/kl)	29	54

決算サマリー | BS

	(B)		(A)	(億円)
	20/3末	21/3末	21/12末	増減(A)-(B)
総資産	4,889	4,912	5,105	+193
現預金	252	347	209	▲ 138
棚卸資産	806	763	950	+187
有形固定資産	2,315	2,246	2,319	+73
純資産	1,826	1,886	2,024	+137
自己資本	1,779	1,857	1,995	+137
うち利益剰余金	619	644	728	+85
非支配株主持分	47	29	29	▲ 0
有利子負債	1,751	1,870	1,889	+19
D/E レシオ	0.98	1.01	0.95	-
Net Debt / EBITDA倍率*	3.8	3.3	3.3	-

* (有利子負債 - 現預金) <期末> / EBITDA <年換算>

決算サマリー | セグメント別

(億円)

	売上高		営業利益		
	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	20年度 3Q累計	21年度 3Q累計	増減
フィルム・機能マテリアル	1,130	1,273	143	166	+22
モビリティ	255	322	▲ 17	▲ 14	+2
生活・環境	773	824	30	27	▲ 3
ライフサイエンス	192	246	32	64	+32
不動産・その他	88	81	16	16	▲ 0
消去・全社	-	-	▲ 22	▲ 29	▲ 7
合計	2,439	2,745	183	229	+46

フィルム・機能マテリアル

(億円)

	20年度			21年度			3Q累計 増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	738	392	1,130	859	414	1,273	+143	+12.6%
営業利益	87	56	143	122	43	166	+22	+15.6%
(率)	11.8%	14.3%	12.7%	14.2%	10.5%	13.0%	-	-

包装用フィルム

- 巣ごもり需要は継続も、原料高により苦戦

工業用フィルム

- 液晶偏光子保護フィルムは、新ライン（3号機）の稼働により、約20%増収
- セラコン用離型フィルムは、新ライン（加工設備）の稼働により、約20%増収

機能マテリアル

- 工業用接着剤“バイロン”は、エレクトロニクス用途の販売が堅調に推移

モビリティ

(億円)

	20年度			21年度			3Q累計 増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	150	105	255	216	106	322	+66	+26.0%
営業利益	▲ 13	▲ 4	▲ 17	▲ 9	▲ 6	▲ 14	+2	-
(率)	-	-	-	-	-	-	-	-

セグメント全体：前年同期に対して販売は回復するも、
原料高、半導体不足による自動車減産の影響を受ける

エンジニアリングプラスチック

- 原料高、自動車減産の影響を受けるも、国内・海外ともに、販売回復

エアバッグ用基布

- 前年同期に対し販売は回復するも、原料高、自動車減産の影響を受け、苦戦

生活・環境

(億円)

	20年度			21年度			3Q累計 増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	502	271	773	547	277	824	+51	+6.6%
営業利益	18	12	30	19	8	27	▲ 3	▲ 11.5%
(率)	3.5%	4.6%	3.9%	3.4%	2.9%	3.2%	-	-

環境ソリューション

- VOC処理装置は、前年度の営業活動の停滞が影響
LIBS市場回復で、足元の受注急増

不織布

- 長繊維不織布スパンボンドは、建材用途が堅調も、原料高の影響あり

繊維機能材

- ポリエステル短繊維は、原料高の影響あり
- スーパー繊維は、“イザナス”は釣糸・ロープ用途、“ザイロン”は消防服用途などが堅調

衣料繊維

- 中東向け特化生地は円安により好転も、スポーツ用途、ユニフォーム用途は停滞

繊維事業のリソース集約

「東洋紡せんい株式会社」発足（22年4月1日）

- ・東洋紡 STC(株)の繊維事業を分割し、東洋紡ユニプロダクツ(株)と統合
- ・統合により、新たに「東洋紡せんい株式会社」を発足
- ・トーヨーニット(株)は「東洋紡せんい株式会社」の子会社に
- ・衣料繊維事業のリソースを統合し、同事業における選択と集中を加速

富山事業所の拠点集約

- ・繊維事業の国内生産拠点である富山事業所の、井波工場、入善工場の生産を休止
- ・両工場の生産機能を庄川工場に集約し、生産効率を高める
- ・マレーシアの生産拠点も活用し、庄川工場をマザー工場とし、国内外一体運営を進める
- ・23年以降 井波工場、入善工場の生産設備の一部を庄川工場に移管
24年3月 井波工場、入善工場の生産を休止

ライフサイエンス

(億円)

	20年度			21年度			3Q累計 増減	
	上期	3Q	3Q累計	上期	3Q	3Q累計	金額	率
売上高	124	69	192	163	82	246	+53	+27.8%
営業利益	16	16	32	46	18	64	+32	+102.2%
(率)	12.9%	22.7%	16.4%	28.2%	21.6%	26.0%	-	-

バイオ

- PCR検査用原料・試薬、遺伝子検査装置などの販売が拡大



メディカル

- 人工腎臓用中空糸膜、ウイルス除去フィルターの販売堅調



医薬

- 医薬品製剤製造受託事業は、FDA対応のため、操業度低下

トピックス | カーボンニュートラルに向けて

➤ 岩国事業所の自家火力発電所を更新

- ・燃料を石炭から液化天然ガス、および RPF* に転換
- ・GHG排出量を、8万トン/年削減
- ・21年11月に着工、23年10月運転開始

* RPF：古紙・廃プラスチック類を主原料とした固形燃料

➤ インターナルカーボンプライシング制度を導入（2022年4月1日～）

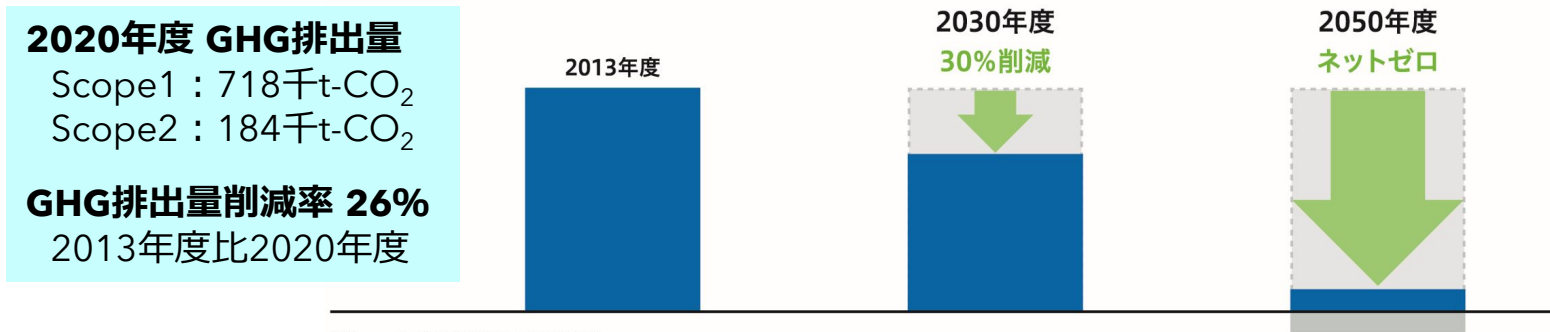
- ・ICP 10,000円/t-CO₂ シャドープライス

2030年度目標 Scope1,2：GHG排出量30%以上削減（2013年度比）

2050年度目標 Scope1,2：GHG排出量ネットゼロをめざす

GHG削減貢献量 > 当社バリューチェーンのGHG排出量

事業活動からの排出の削減（燃料転換の推進／生産効率の向上／再生可能エネルギーの導入など）



※ Scope 1：事業者自らによる直接排出
 Scope 2：他社から供給された電気・熱・蒸気の使用に伴う間接排出

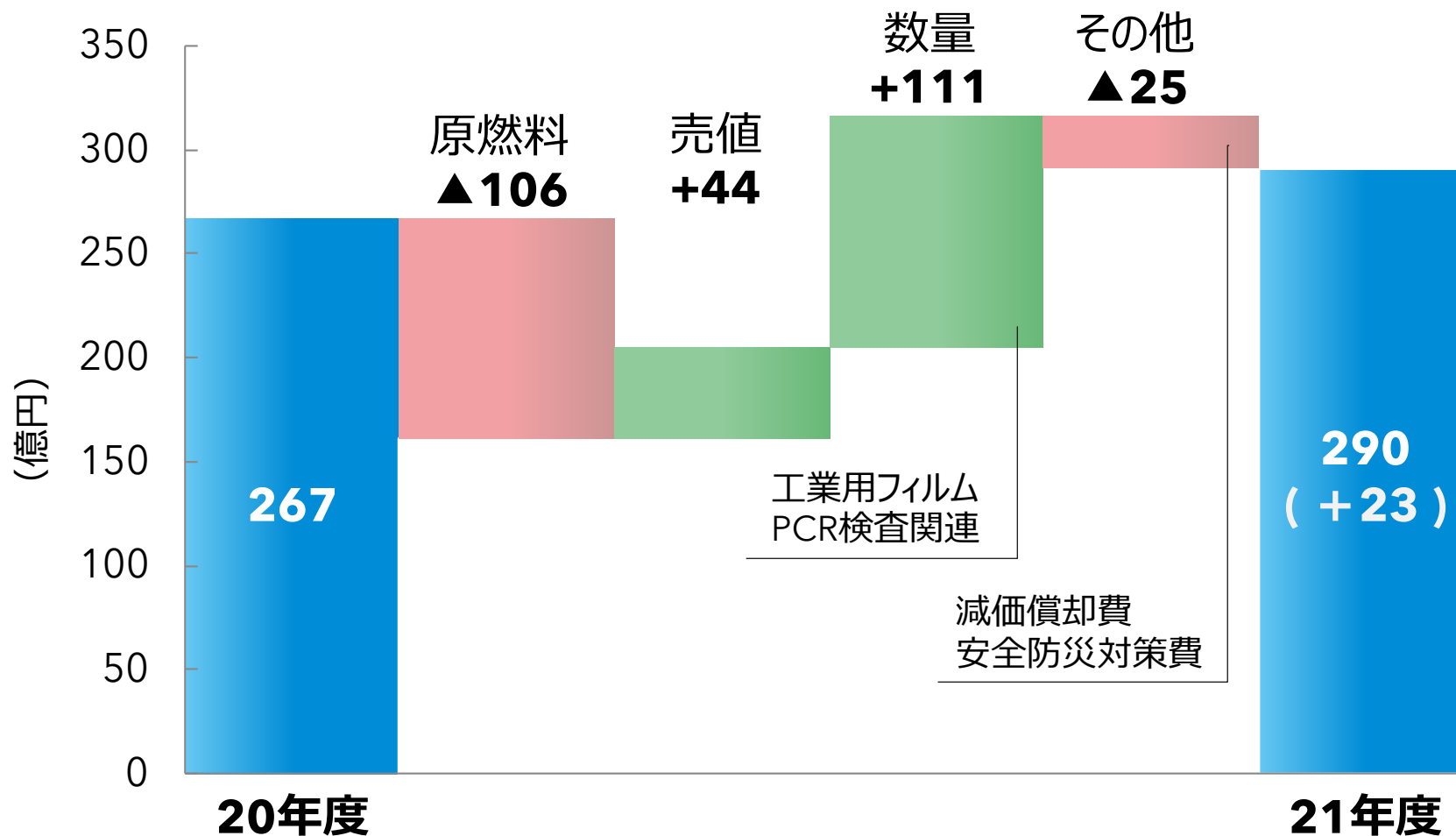
2021年度業績見通し

販売価格の改定の遅れ、新型コロナウイルス変異株の感染拡大の影響が懸念されるも、工業用フィルム、PCR検査試薬などが堅調に推移し、営業利益 290 億円、当期利益 130 億円の予想を据え置く

(億円)

	20年度		21年度		増減		直近予想 (21/11)
	実績	3Q累計	見通し	金額	率		
売上高	3,374	2,745	3,700	+326	+9.7%	3,650	
営業利益	267	229	290	+23	+8.8%	290	
(率)	7.9%	8.3%	7.8%	-	-	7.9%	
経常利益	207	182	240	+33	+15.9%	240	
特別損益	▲ 151	▲ 32	▲ 70	-	-	▲ 70	
親会社株主に帰属する当期純利益	42	121	130	+88	+209.4%	130	
EBITDA	458	380	493	+35	+7.8%	493	
EPS (円)	47.3	136.4	146.3	-	-	146.3	
減価償却費	191	151	203	+12	+6.3%	203	
設備投資	233	227	310	+77	+33.3%	310	
配当 (円)	40.0		40.0	-	-	40.0	

営業利益の増減要因



	20年度	21年度
為替レート (円/US\$)	106	112
国産ナフサ (千円/kl)	31	56

直近予想
(21/11)
112
57

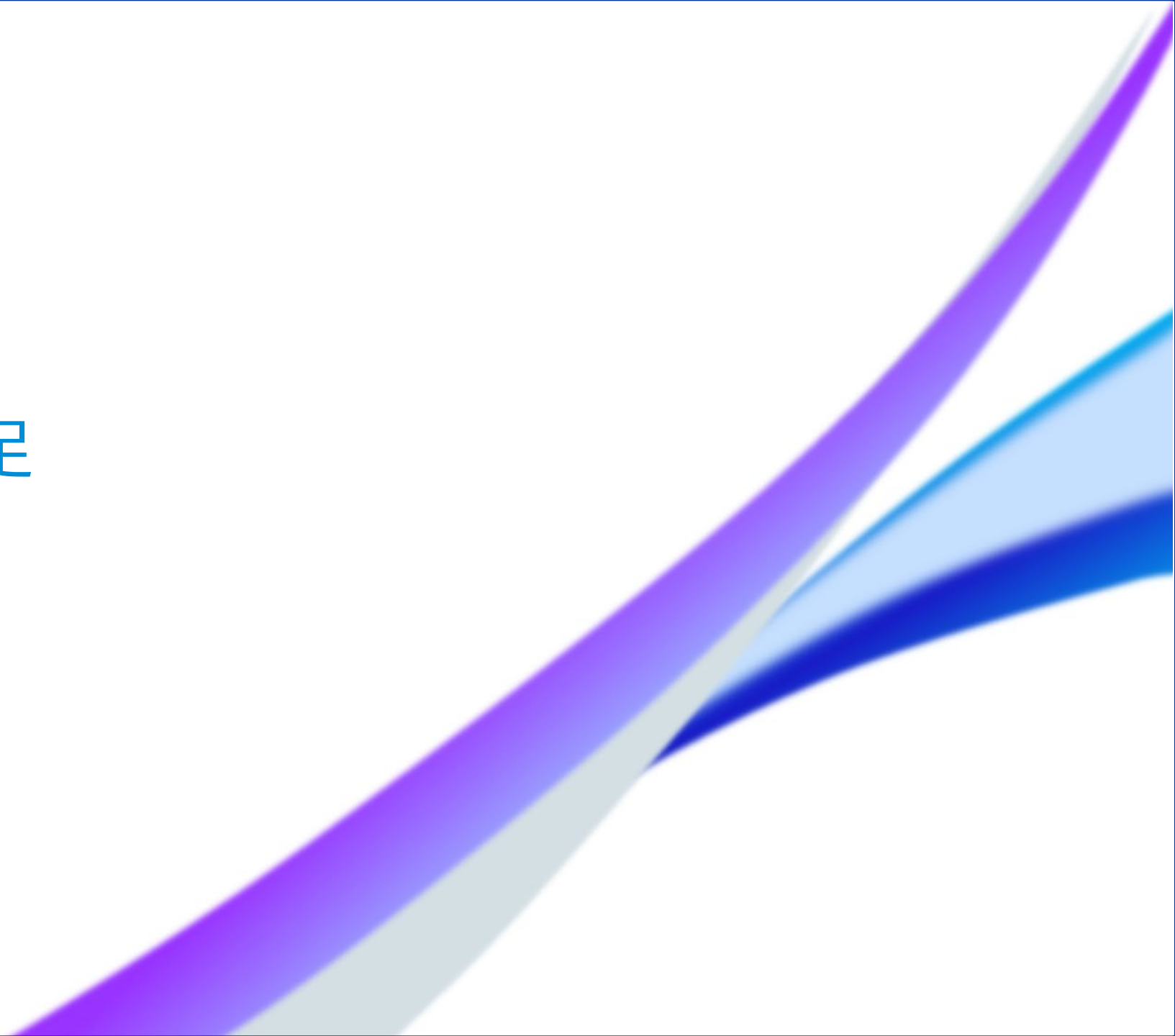
セグメント別見通し

(億円)

	売上高		営業利益			直近予想 (21/11)
	20年度 実績	21年度 見通し	20年度 実績	21年度 見通し	増減	
フィルム・機能マテリアル	1,528	1,700	200	210	+10	210
モビリティ	366	430	▲ 16	▲ 18	▲ 2	▲ 14
生活・環境	1,091	1,120	44	37	▲ 7	37
ライフサイエンス	271	340	45	78	+33	71
不動産・その他	118	110	23	21	▲ 2	22
消去・全社	-	-	▲ 30	▲ 38	▲ 8	▲ 36
合計	3,374	3,700	267	290	+23	290



補足



セグメント別情報

(億円)

売上高	20年度					21年度			
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計
フィルム・機能マテリアル	363	375	392	1,130	1,528	457	402	414	1,273
モビリティ	68	82	105	255	366	111	105	106	322
生活・環境	229	273	271	773	1,091	277	270	277	824
ライフサイエンス	63	60	69	192	271	75	89	82	246
不動産・その他	31	31	27	88	118	26	27	28	81
消去・全社	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	755	821	864	2,439	3,374	946	892	907	2,745

営業利益	20年度					21年度			
	1Q	2Q	3Q	3Q累計	通期	1Q	2Q	3Q	3Q累計
フィルム・機能マテリアル	39	48	56	143	200	68	54	43	166
モビリティ	▲ 7	▲ 6	▲ 4	▲ 17	▲ 16	▲ 5	▲ 4	▲ 6	▲ 14
生活・環境	3	14	12	30	44	15	4	8	27
ライフサイエンス	10	6	16	32	45	19	28	18	64
不動産・その他	5	6	6	16	23	4	7	5	16
消去・全社	▲ 7	▲ 7	▲ 8	▲ 22	▲ 30	▲ 8	▲ 10	▲ 11	▲ 29
合計	44	61	79	183	267	92	79	58	229

➤ ソーシャルボンド発行

2021年12月に100億円発行
医用膜製造に係る費用、試薬製造に係る費用に充当

➤ 「2021年インターネットIR表彰」で優良賞を初受賞

大和インベスター・リレーションズ株式会社
上場企業3,944社のIRサイト（株主・投資家向け情報サイト）を対象
情報開示ならびにコミュニケーション活動で有効に活用している企業を選定



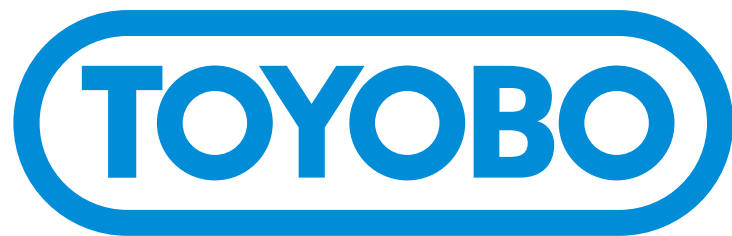
➤ 「サステナビリティサイト・アワード2022」でブロンズを初受賞

一般社団法人サステナビリティコミュニケーション協会
国内の全上場企業および非上場大手企業4,049社のウェブサイト対象
サステナビリティ情報の充実度を調査し格付け

ご注意

本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合がありますことをご了承ください。

東洋紡株式会社



All Rights Reserved